

すぎなみ 大人“熟”してる？

総合コース
コトバ・ラボ
卒塾号

平成31年2月16日発行

発行元：社会教育センター（事務局）

第10回「プレゼンテーション&総括」
学習支援者：伊藤 剛氏

平成31年1月11日（金）
午後7時～9時 於：セッション杉並
受講生：23名



すぎなみ大人塾総合コースの最後の講座を、セッション杉並視聴覚室にて開催しました。
前回の講座では、学習支援者の伊藤さんから宿題が出ていました。



コトバに関する
自分の問いを見つけよう

例

辞書を使って○○○の変遷・比較をしてみる

コーパスを使って○○○について調べてみる

○○○についての自分の語釈をつくってみる

そこで、まずはグループ単位で自分がやってきた宿題について共有してもらいました。



さらに、グループで共有したことを、全体に向けて発表してもらいました。



岡ノ谷先生の「コトバがレッテルをはってしまう」という言葉が印象的。ならば、ポジティブになるコトバ”YES”を先に言うことで見えてくるものがあるのでは。”YES”から出た真（まこと）があるのではないか。



- ・赤ちゃん言葉をコーパスで調べてみた。
- ・「何か」は便利で普段から良く使う、無意識の言葉。色々な意味合いを含む（聞く方も状況をすぐ理解できる。）辞書の意味：一例を挙げてしめす。ある事物を挙げて、転じて使う。



生活体験の中からの”語“に注目した。その中でも「孫」に注目してみた。昔は、内孫、外孫と分けて使っていたが、今では、そのような概念が薄れてきていて、使われなくなってきた。



「ことば」と「発音」の世代ギャップに着目。例）・貴様⇒元々は目上を指す。その後同輩や同輩以下。表現が漢字か、ひらがな、カタカナによっても、イメージが変わってくる。

- ・「映える」は「はえる」と読む。映えを動詞化したもの。辞書の意味：光に照らされて美しく輝く、調和して一段と輝くという意味。
- ・「先」 先祖の意味もあるが、過去にも未来にもベクトルが向かっている。



言葉の変遷を考えてみた。

「適当」→当てはまるという意味といい加減という意味。

「環境」→以前は土地や場所のことに使っていた。90年代から広がりをもった意味に変わってきた。

<皆さんからの感想>

- ▶皆さんの言葉に対する興味が広いのに驚きでした。
- ▶いつも深く考えずに使っている言葉も、よく考えてみるといろいろな意味があり、時代によって少しずつ意味合いや使い方が異なってくるという事がおもしろかったです。
- ▶たくさんの新しい発見があった講義でした。とても面白かったです。最初の頃よりもっとコトバが分からなくなりました。
- ▶今回は、皆さんの言葉に対する鋭い感性に感動した回でした。
- ▶本当にぜいたくな講座でした。私用で出席できなかった2回が残念でした。また参加できれば幸いです。
- ▶8回通して本当に充実した講座をご用意いただき、ありがとうございました。「学習支援者」の役割は本当に重要でした。雑学に留めず学びを活かしていきたいと思います。
- ▶最終回、グループ内でトークが大変盛り上がりました！毎回受講生が楽しめるような工夫やサポート、本当にありがとうございました。
- ▶皆さんの考えにひっかかったものが、それぞれあって面白かったです。以前のことは忘れてましたが、発表を聞いて思い出すことができ、楽しかったです。
- ▶皆さんの発表とてもおもしろく聞きました。“なんか”の用法分類とコーパスでの用例を集めた発表、虫のことばの絵本など特に印象に残っています。長いあいだ、ありがとうございました。
- ▶実に楽しいコースでした。
- ▶今日もおもしろかった！他の人がひとつのテーマ「ことば」で考えることをたくさん聞ける機会はもうないかも。では、これから辞書、コーパスなどに親しむ生活を考えます。時代小説の背景も検証しちゃうぞ。老後の楽しみ！
- ▶今日のグループ発表の内容、発表者の発表の仕方など有意義で楽しいものでした。（先生によるレクチャーももちろん楽しいが、受講生の声もおもしろいですね。）何回か欠席したのですが、それが残念でした。（全受講したかった）
- ▶私のテーブルの皆さんは全員宿題をやってきたまじめなテーブルでした。そして、なんと夏の飲み会にも全員出席メンバーでした！伊藤さんの最後のことばはグッときました。これからは、「問われる」ことをおそれず、答えが見つからないことを気にして、「問う」ことを恥じずにいきたいです。がんばります。ありがとうございました。

- ▶伊藤さん、スタッフの方、1年間ありがとうございます。とてもコトバについて、これだけ考えたことはなかったです。この経験を生かして、疑問をもちながら、好奇心を持って楽しんでいきたいと思います。
- ▶自分での振り返りと本日の皆さんとの会話の中で思い出すことができました。
- ▶グループ発表がショックでした。それぞれがユニークで、予想・想像をはるかに超えていました。日本語に対する問題意識が、人によってこんなにもちがうとは…。
- ▶有意義な7か月でした。言葉をとらえるフィルターが広がった気がします。杉並区民で良かったと思います。お世話になり、ありがとうございました。

合同成果発表会での発表に向けて



宿題の発表から、それぞれの言葉への思いを共有し、2月に開催される大人塾の合同成果発表会において総合コースで学んだことを発表してくださる有志の方を決定しました。この1年を振り返ると、本当に「気づき」の多い講座だったと思います。「言葉」というキーワードで集まった受講生の皆さん。様々な切り口で「言葉」を学ぶプログラムを考えてくださった学習支援者の伊藤さん、国立国語研究所の先生方。全ての皆さんのお力でこの講座が充実したものになったと思っています。本当にありがとうございました。

事務局から



「コトバ・ラボ」ご参加いただき、ありがとうございました。国立国語研究所にとっても初の自治体講座への全面協力をいただき、専門性の高いプログラムとなりました。また、学習支援者の伊藤さんの昼夜惜しまぬご尽力により、専門的知見と日常生活でのあたりまえの「コトバ」をつないで考え、自分りテラシーを磨く、というとても刺激に富んだ毎回の講座の流れができました。そして迎えた最終回。皆様の楽しそうなやりとりの様子や発表に感動しました。伊藤さん、ゲスト講師、それに受講いただいた皆様の自分発の鋭い参加姿勢や問いによって出来上がった学びの空間であったことを再認識しました。地域の講座もなかなかだな、とだけ思っていたら幸いです。さらに、この講座で「コトバ」への関心を共有した受講生の皆様同士の交流が続いていけばと願います。さらに欲をいえば、10年以上続いてきた大人塾の受講仲間ということで、合同成果発表会で地域のつながりの輪を広げ、大人塾まつりに出店や参加していただければ何よりです。引き続き、気軽にお付き合いください。（社会教育センター社会教育主事 中曽根聡）

コトバ・ラボは、私にとっても初めての大人塾でしたが、興味深い内容、講師と受講生とスタッフの誰もが、共に難しい顔や楽しそうな顔をして1つのテーマを掘り下げる、本当に素敵な時間でした。伊藤さんの次回の講座にも期待！（事務局：大曾根）

大人塾総合コース、ご卒業おめでとうございます。6月からの長丁場。お仕事やご家庭のご事情で参加されるのも大変だったかもしれません。今年度の大人塾はこれで閉講しますが、これをご縁に皆さんとこれからは卒塾生として繋がっていかれたらと思っています。よろしく願いいたします。（事務局：山田）